

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8 (武蔵野ビル)
〒101-0054 TEL 03-3295-7871 FAX 03-3295-7874
支局 大阪市北区大淀北1-3-18
〒531-0077 TEL 06-6451-4495
振替口座 00140-5-12935
購読料年間25,000円 (消費税別)

Yamato

業界初の振動除去機能を搭載して作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり

“UDS-1V/1VD”



大和製衡株式会社
電話 明石(078)918-5577

第55回計量士国家試験3月6日実施

男女幅広い年齢層の受験者、早朝から集まる

合格発表は5月末頃 本紙、ウェブサイトででも詳報

第55回計量士国家試験が3月6日(日)9時20分から、全国9会場で一斉に実施された。計量士国家試験は、計量及び計量管理に関する職務にあたる者の国家資格であり、毎年1回、3月の第一日曜日に実施されている。試験当日の東京は、前々日に降った大雪の影響はないものの、厳しい寒さとなった。東京会場の新宿区・早稲田大学には、朝早くから大勢の受験者が集まった。曇天のなか、構内に咲くツバキが彩りを添えた。



今年の出願者は1万1485名で、去年より1220名少ない。内訳は環境計量士(濃度関係)が8011名、環境計量士(騒音・振動関係)が2166名、一般計量士が1308名となっており、相変わらず環境計量士の出願者数の多さが目を引く。合格発表は5月末頃の予定で、本紙のほか、官報経済産業省のインターネットサイト (<http://www.meti.go.jp>) に



試験会場(東京・早稲田大学)

掲載される。昨年実施の計量士国家試験は、合格率が環境計量士(濃度関係)11.9%、環境計量士(騒音・振動関係)14.3%、一般計量士23.0%で、資格試験では難しい部類に入る。計量士制度は、計量に関する専門の知識・技能を有する者に対して一定の資格を与え、一定分野の職務を分担させることにより、計量器の自主的管理を推進し、適正な計量の実施を確保することを目的としたもの。環境計量士(濃度関係)は大気、水質・土壌の測定を行い、同(騒音・振動関係)は音圧レベル、振動加速度レベルの測定を行う。分析、測定結果を証明する計量証明書には、環境計量士の押印が義務づけられている。

計量行政審議会 04年度第2回計量標準部会開く

計量行政審議会2004年度(平成16年度)第2回計量標準部会が2月28日午後、経済産業省別館526会議室で開かれた。代理出席も含め、部長以下計20名の委員が出席した。経済産業大臣からの諮問事項である特定標準器(中真空標準、交流抵抗

一般計量士は、環境計量士の範囲に入らない物

K-2型防水式

ばね式指示はかり 専門メーカー

富士計器製造(株)
e-mail: kb571338@magic.matrics.or.jp
桐生 0277-43-5555

量を行う。広く製造業や流通業で、適正な計量器の選択、使い方の指導、計量器の定期検査などを行っている。また、取引証明用はかりの定期検査を、検査機関に代わって検査することもできる。計量士になるには、国家試験を受験するほか、(独)産業技術総合研究所計量研修センターに入所し、所定の講習を修了する方法がある。

長野計器 圧力トランスミッター 「GC51」登場

長野計器(株)(大田区東馬込1-30-4、宮下茂社長)は、半導体歪ゲージセンサを用いた2線式圧力トランスミッター「GC51」を発売している。圧力レンジはマイナ



ス0.1MPa~0.1MPaから0MPa~35MPaまで13種類。MPaまで13種類。スケーリング機能を搭載

し、表示、出力範囲の調整を可能にした。表示値の最大値、最小値を表示できる。

ガスエンジンコージエネ用、ガスタービン用などの省エネルギー流量計測設備や、ビル空調プロセスをはじめ、工場設備、制御装置向けと、幅広く業界用途円より

今週の主な記事

- ① 第55回計量士国家試験実施、長野計器新製品、計量標準部会開く
- ② 特集 全国計量士大会
- ③ IAJapan 白電検共催でJCSS改正説明会
- ④ パブリックコメント募集、セミナーのお知らせ
- ⑤ 資料 計量標準の供給開始と校正範囲の拡大
- ⑥ おじんの甘口・辛口
- ⑦ あいち計測研究会座談会
- ⑧ 私履歴書、齊藤勝夫(3)、社説、計量ひとくちメモ
- ⑨ 都道府県計量行政協議会要望書提出企業313社ほか
- ⑩ 新製品 コース、MLAP認定 計量計測器ガイド

器)の指定及び校正の実施、温度の校正の実施校正範囲の拡大)について審議を行い、異議なく承認された。次回の計量行政審議会では報告される。今後の標準物質の供給体制のあり方など、計量標準に関する最近の状況について、報告があった。議題は以下の通り。審議事項 校正の実施について(温度) 特定標準器の指定及び校正

報告事項 今後の標準物質の供給体制について(標準物質の供給体制のあり方に関するWG(ワーキンググループ)最終とりまとめ) 計量法の改正について(政省令改正の概要) 臨床標準物質の整備について ROHS指令に対応した標準物質の整備について JCSS活用の現状紹介(ユーザー訪問結果) 水漏れ対策の状況